



女性自衛官募集対象と女性自衛官との交流会

自衛隊埼玉地方協力本部（本部長 高田一空佐）は、女性自衛官募集対象者に女性自衛官についての理解を深めてもらうために、令和4年5月15日（日）、埼玉地本本部（浦和 地方合同庁舎）において、女性自衛官との交流会を実施した。本交流会には、女性自衛官に興味を持った女性一般参加者（保護者含む。）14名、陸海空自衛隊の各部隊からの支援により参加した女性リクルータ3名及び埼玉地本の女性隊員7名が参加した。

まず、女性広報官が、自衛隊の概要と災害派遣活動及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の支援について、自らの経験を交えながら説明を実施し、その後、一般参加者とリクルータとの懇談を実施した。

特に、懇談は、リクルータが埼玉県出身者で出身校が近いこともあり、終始和やかな雰囲気の中で進められ、一般参加者からは、勤務状況だけでなく私生活についても質問がなされ、リクルータが笑いを交えて回答する姿も見られた。

終了後、一般参加者からは、「女性自衛官の職場での1日の過ごし方だけでなく、営内生活や私生活についても深く理解することができた。」「体力面に不安があったが、初めは出来なくてもコツコツ継続して取り組むことで、出来るようになる」と聞いて安心した。「仕事と子育ての両立ができる職場であることを理解できた。」といった感想を聞くことができた。

埼玉地本は、女性自衛官の勤務や女性が働きやすい自衛隊を大いにアピールできた本交流会の成果を活かし、今後も様々な交流会を企画し、自衛官の仕事について具体的な発信を継続するとともに、自衛隊に対するさらなる理解獲得に努めていく。

